

元禄！師宣劇場 十二ヶ月風俗図巻 大公開

Step Inside Moronobu's Genre Scenes of the Twelve Months:
Masterpieces of Early Ukiyo-e

2026年6月27日(土)～8月23日(日) *前期6/27～7/26 後期7/28～8/23



広報画像1-1 菱川師宣「十二ヶ月風俗図巻」下巻 七月 絹本着色 江戸時代・元禄元～7年(1688～1704)頃 (公財)静嘉堂蔵 *後期展示

「見返り美人図」で有名な浮世絵師・菱川師宣ひしかわもろのぶ(?～1694)は、庶民が主役の庶民のための憂き世(浮世)の絵を描いて絶大な人気を博した浮世絵の始祖。江戸の二大悪所である芝居町や遊里を紹介した墨摺りの版画、絵本、芝居番付などはもちろん、華やかな色彩で人間模様を活写した肉筆画も多数残っています。当館所蔵の絹本着色「十二ヶ月風俗図巻」二巻は、雛祭りや端午の節句、花見、藤見での酒宴で酩酊する人、盆踊りで踊り狂う人々など、師宣が創りだした江戸文化の華ともいべき元禄イメージが展開し、まるでお芝居を見ているようです。豪華な仕立て、上質な画絹に絵具をふんだんに用いた本作は、高貴な人からの特別注文と考えられる優品です。

本展ではこうした象徴的なイメージを創りあげ、江戸時代の人々を熱狂させた師宣の肉筆画の名品を中心に、元禄の絵師・英一蝶はなぶさいっちょう(1652～1724)、そして師宣を継承した宮川長春みやがわちやうしゅん(1682～1752)ら宮川派の系譜をたどりつつ、江戸後期の師宣リバイバルまで、師宣画とその系譜をたどります。

3つのみどころ

- ① 菱川師宣の代表作が夢の競演！
見返り美人図（東博）×十二ヶ月風俗図巻（静嘉堂）×重文 歌舞伎図屏風（東博）
- ② 元禄の絵師、そろい踏み 菱川師宣×英一蝶×尾形光琳
ひしかわもろのぶ ひなぶさいちちよう おかた こうりん
- ③ これぞ風俗画！重文 四条河原遊楽図屏風も特別出演！



江戸の流行を見せるポーズ



“菱川やうの吾妻倂”
あづまのむまかけ
師宣描く美人こそが江戸女！

広報画像2
菱川師宣
「見返り美人図」
一幅 絹本着色
江戸時代・元禄元～7年
(1688～1704)頃
東京国立博物館蔵
2週間限定公開
6/27～7/12

Image: TNM Image Archives

菱川師宣 (?～1694)

安房国保田村（千葉県鋸南町）の縫箔師・菱川吉左衛門の長男。通称は吉兵衛、薙髪し友竹。
若くして江戸へ出て、寛文年間（1661～73）興隆期の大衆出版界にデビュー。それ以前は不明。
土佐派系の町絵師の流れを基調とし、漢画系の諸派をも吸収し新様式を確立。木版画では100種以上の絵本・挿絵本、50種以上の艶本の他、枕絵・名所絵・浄瑠璃絵の組物を制作、また画卷・屏風・軸物など肉筆画も描いた。
師房（長男）、師重、師平ら門人も多数。

職人を集め紹介した本。左は「縫物師(ぬいものし)」上部に説明、下部に流行の風俗で大きく人物を描く



広報画像3 菱川師宣画『和国諸職絵尽』より
江戸時代・貞享2年(1685)刊（公財）静嘉堂蔵

菱川師宣はどこがスゴイのか！

- ★江戸の挿絵画家として初めて署名を入れ、「大和絵師」「日本絵師」を自称。
- ★近世初期風俗画の最も活力に溢れた表現を継承し、新奇な画題、図様、姿形を多数生み出し菱川様（ひしかわよう）を確立！菱川様は出版の利を活かし江戸庶民から貴顕まで、幅広い層に大流行！

展示構成

序幕 主役は庶民！師宣前史から元禄まで

本章はまず、静嘉堂が所蔵する近世初期風俗画の代表的な優品、京都・四条河原の喧騒を描いた「四条河原遊楽図屏風」から幕を開けます。

菱川師宣と浮世絵の誕生に大きな影響をあたえたのは、いわゆる近世初期風俗画と呼ばれる作品でした。京都・四条河原の喧騒を描いた「四条河原遊楽図屏風」は、華やかな元禄文化を予見するかのような、活き活きとした描写がみられます。

さらに、師宣の代表作「見返り美人図」や俳味を帯びた英一蝶^{はなびさいつちよう}「朝暎曳馬図」、上方の上層町衆を顧客とした尾形光琳^{おがたこうりん}の法橋叙任頃の「鵜舟図」と、元禄を代表する絵師たちの名品が皆様をお迎えします。



重要文化財 広報画像4「四条河原遊楽図屏風」二曲一双 紙本金地着色 江戸時代・寛永期(1622~44)頃 (公財)静嘉堂蔵

鴨川を中央に流し、
右に女歌舞伎と見世物小屋
左に女歌舞伎と能の小屋
という対比的な構図

⇒尾形光琳「紅白梅図屏風」
二曲一双(MOA美術館蔵)をも
予見??

女歌舞伎のスターたちは
三味線をかき鳴らし、
老若男女が酒や煙草、弁当
を摘みながら観劇する。
中には舞台そっちのけで
喧嘩する人々も！



元禄絵師たちの競演!!

菱川師宣

署名は「日本絵菱川師宣図」
ハンコは「菱河」



広報画像5
菱川師宣
「美人若衆図」
一幅 絹本着色
江戸時代・元禄元～7年
(1688～1704)頃
(公財)静嘉堂蔵

*展示期間
7/14～8/23



右手は口元、左手で襟をとる姿は師宣美人のアイコン

尾形光琳

京の呉服商
雁金屋の次男坊



古来、歌枕にもなり有名な
大堰川(嵐山)の鶴飼、
上方の雅な娯楽

広報画像7
重要美術品

尾形光琳「鶴舟図」一幅 紙本墨画淡彩
江戸時代・元禄14～17年(1701～04)頃
(公財)静嘉堂蔵

英一蝶

大和絵師・土佐光信の画系
と称しつつ、
岩佐又兵衛、菱川師宣に学
び、特に師宣を慕う

朝日を浴びながら、馬子が橋
を渡ってゆく
水面には影法師
いつも通りの一日のはじまり



広報画像6
英一蝶「朝暎曳馬図」一幅 紙本墨画淡彩
江戸時代・元禄元～11年(1688～98)頃 (公財)静嘉堂蔵

第1幕 元禄！師宣劇場—「十二ヶ月風俗図巻」を味わう

「十二ヶ月風俗図巻」は、師宣が得意とする芝居町や遊里、上野・隅田川などの行楽地に集う市井の人々よりも、富裕な武家層が毎月の行事や風習を楽しむ様が生き活きと描かれています。発色の良い絵具で上質な画絹に精緻に描かれており、装丁も見事です。とりわけ表情豊かで可愛い子どもたちの描写が多く、師宣画においても異彩を放っています。こうした特徴から本作は、高貴な人による特注品ゆえに憚って無落款である可能性が指摘されています。

本展では前期に上巻（一月から六月）、後期に下巻（七月から十二月）の全画面を大公開します。老若男女の江戸の風物詩が展開する様はお芝居をみるようです。元禄！師宣劇場をご堪能ください。



広報画像1-2 菱川師宣「十二ヶ月風俗図巻」上巻 四月 絹本着色 江戸時代・元禄元～7年(1688～1704)頃 (公財)静嘉堂蔵 ***前期展示**
藤花の宴(四月) 役者も交えた酒宴。敷物まで豪華で、いかにも富裕な武家たちが集う。既に酩酊状態の人も。



広報画像1-3 菱川師宣「十二ヶ月風俗図巻」下巻 十二月 絹本着色 江戸時代・元禄元～7年(1688～1704)頃 (公財)静嘉堂蔵 ***後期展示**

師走の吉原(十二月)

節季候(せきざろ)が家の入口で芸を披露！

肩車してもらって熱心に眺める子もいれば、お母さんの背中で寝る幼子、餅つきに気を取られそっぽを見る子も(笑)



第2幕 菱川、宮川の流れ—屏風絵にみる

師宣は、絢爛豪華な屏風絵も手掛けました。

新興都市・江戸の庶民の娯楽である歌舞伎や遊里、上野の花見、隅田川の花火など季節の風物詩は、菱川様と呼ばれた新しい図様で描かれ、あらゆる階層の江戸の人々に歓迎されたのです。

通常より大きな「歌舞伎図屏風」は、観劇でウキウキする魅惑の一日の全てを描いています。

師宣落款のある基準作「江戸風俗図屏風」（フリア美術館蔵）は「上野隅田川図屏風」に継承されます。

師宣の創ったイメージは、宮川派ら浮世絵諸派の規範となったのです。

重要文化財

広報画像8 菱川師宣「歌舞伎図屏風」六曲一双 江戸時代・元禄5～6年(1692～93)頃
紙本金地着色 東京国立博物館蔵 *前期展示 Image: TNM Image Archives



役者総出の華やかな舞台「太平楽大おとり」が繰り広げられる。
棧敷席では高貴な人が、地面では庶民が観劇。

中村座の前は大賑わい。
呼び込みが声を張り上げる。



楽屋に繋がる芝居茶屋では役者が客をもてなす。座敷で色子が舞う。
花見の酒宴も。左下の出入口では武士の客を迎える役者と色子。

楽屋では、役者が顔を洗ったり、
髪を直してもらったり。

【桜満開の上野花見】

右下の寛永寺の黒門、陣幕内の宴、
左奥には、渡殿(わたどの)で繋が
れた常行堂と法華堂。

【隅田川の納涼】

駒形堂、浅草寺の五重塔や本堂。
待乳山聖天。そして馬子！

師宣が創り上げた新興都市江戸の
風景、図様は確かに受け継がれて
います！



参考↑ (最下図も)「江戸風俗図屏風」六曲一双 紙本着色
江戸時代・貞享期～元禄前期(1684～94) フリア美術館蔵 *複製を後期展示

広報画像9

「上野隅田川図屏風」
六曲一双 紙本着色
江戸時代・
元禄後期～享保期
(1688～1736)頃
(公財)静嘉堂蔵



隅田川の向こうには
田畑が広がり
馬子がゆっくり歩く
...
どこかで見たような
風景??



第3幕 師宣リバイバル

狩野派から転じた英一蝶は、師宣を慕い、江戸庶民の日常生活を描きました。

師宣の創始した図様や画風は、浮世絵次世代の宮川長春ら宮川派に受け継がれます。

さらに、江戸後期になると、師宣は戯作者で考証家の山東京伝（1761～1816）らによって再評価され、文化文政期（1804～18）を中心に師宣リバイバルともいうべき現象が起こります。

当館所蔵の鈴木其一（1796～58）の三幅対はその好例と言えるでしょう。師宣は江戸時代を通じて絶大な人気を博したのです。



広報画像10
英一蝶
「雨宿り図屏風」
六曲一隻 紙本着色
江戸時代・宝永6～享保9年
(1709～24)頃
東京国立博物館蔵
*後期展示

Image: TNM Image Archives



重要文化財

広報画像11
宮川長春「風俗図巻」
一巻 絹本着色
江戸時代・元文～寛延期
(1736～51)頃
東京国立博物館蔵
*この場面の展示期間
8/18～23

Image: TNM Image Archives

衣装も髪型も元禄風！



元禄期に流行
カモメ髷(たぼ)



広報画像12
鈴木其一「雪月花三美人図」三幅 絹本着色
江戸時代・文政期(1818～30)頃
(公財)静嘉堂蔵

開催概要

展覧会名

元禄！師宣劇場 十二月風俗図巻 大公開

会 期

2026年 6月27日（土）～ 8月23日（日）

前期 6月27日（土）～ 7月26日（日） 後期 7月28日（火）～ 8月23日（日）

会 場

静嘉堂文庫美術館（静嘉堂@丸の内）

住 所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治生命館1階

主 催

静嘉堂文庫美術館（公益財団法人 静嘉堂）

休 館 日

月曜日（ただし、7月20日は開館）、7月21日（火）

開館時間

午前10時～午後5時

7月3日（金）、10日（金）、22日（水）は午後8時まで

8月21日（金）、22日（土）は午後7時まで開館

*入館は閉館の30分前まで *毎週木曜日はトークフリーデー

入 館 料

一般1,500円 大高生1,000円 中学生以下無料。

障がい者手帳をお持ちの方（同伴者1名《無料》を含む）700円

問い合わせ

TEL 050-5541-8600（ハローダイヤル）

ホームページ

<https://www.seikado.or.jp>

X: @seikadomuseum

Instagram:seikado_bunko_artmuseum



関連イベント

1. 講演「江戸のトレンドイ絵師、菱川師宣」

講 師：田沢裕賀氏（大分県立美術館館長・東京国立博物館名誉館員）

日 時：7月12日（日）午前11時～午後0時30分

会 場：明治安田ヴィレージ「明治安田ホール」（東京都千代田区丸の内2-1-1 4階）

申込方法：本展入館料込み参加券（1,500円）要予約

2. 担当学芸員によるスライドトーク

日 時：2026年7月5日（日）、7月18日（土）、8月11日（火・祝）、8月16日（日）

*いずれも午前11時～ 午後2時30分～

会 場：明治安田ヴィレージ「明治安田ギャラリー」（東京都千代田区丸の内2-1-1 1階）

定 員：各回40名 参加費：無料、ただし当日入館券要、当日整理券配布

3. 【元禄コーデ割引】実施！

ドレスコードは【元禄コーデ】！

粹に、自由に。あなた流の元禄ファッションで、展覧会へ出かけよう！受付で「元禄コーデで来ました！」とお声がけいただくと、一般入館料が200円割引に。*他の割引との併用不可

4. 師宣劇場【見返り美人図ナイト】実施決定！

「見返り美人図」展示期間中の金曜日（7月3日、10日）は、午後8時まで特別夜間開館します。

*入館は午後7時30分まで

【報道に関するお問い合わせ】

◆静嘉堂文庫美術館 広報事務局（共同PR内 担当：三井）

※在宅勤務も増えているため、メールでいただくと助かります。

E-mail: seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382

〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F

◆静嘉堂文庫美術館 E-mail: press@seikado.or.jp（広報担当：大森・河本）

展覧会担当学芸員：吉田恵理

E-mail:seikado-pr@kyodo-pr.co.jp
静嘉堂文庫美術館 広報事務局行(共同PR内 担当:三井)

元禄!師宣劇場 十二月風俗図巻 大公開
2026年6月27日(土)~8月23日(日)
静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)
【広報作品画像データ申請書】

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの送付が難しい場合、FAXでお申込みください(FAX:0120-653-545)

<画像使用全般についての注意>

- 展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、指定表記、作家名、作品名、制作年、展示期間を必ず掲載してください。所蔵元(同一の場合)はまとめて1か所ご記載ください。
- 作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません(画像背景を削除するなど可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- 概要など確認のため、グラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	指定表記・作者名・作品名	制作年代	所蔵元・クレジット
	1-1	菱川師宣「十二月風俗図巻」下巻 七月	江戸時代・元禄元~7年(1688~1704)頃 *後期展示	(公財)静嘉堂蔵
	1-2	菱川師宣「十二月風俗図巻」上巻 四月	江戸時代・元禄元~7年(1688~1704)頃 *前期展示	(公財)静嘉堂蔵
	1-3	菱川師宣「十二月風俗図巻」下巻 十二月	江戸時代・元禄元~7年(1688~1704)頃 *後期展示	(公財)静嘉堂蔵
	2	菱川師宣「見返り美人図」	江戸時代(17世紀) *展示期間6/27~7/12	東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives
	3	菱川師宣画『和国諸職絵尽』より	江戸時代・貞享2年(1685)刊	(公財)静嘉堂蔵
	4	重要文化財「四条河原遊楽図屏風」	江戸時代・寛永期(1622~44)頃	(公財)静嘉堂蔵
	5	菱川師宣「美人若衆図」	江戸時代・元禄元~7年(1688~1704)頃 *展示期間7/14~8/23	(公財)静嘉堂蔵
	6	英一蝶「朝暉曳馬図」(ちようとんえいばず)	江戸時代・元禄元~11年(1688~98)頃	(公財)静嘉堂蔵
	7	重要美術品 尾形光琳「鷓舟図」	江戸時代・元禄14~17年(1701~04)頃	(公財)静嘉堂蔵
	8	重要文化財 菱川師宣「歌舞伎図屏風」	江戸時代・元禄5~6年(1692~93)頃 *前期展示	東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives
	9	「上野隅田川図屏風」	元禄後期~享保期(1688~1736)頃	(公財)静嘉堂蔵
	10	英一蝶「雨宿り図屏風」	江戸時代・宝永6~享保9年(1709~1724)頃 *後期展示	東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives
	11	重要文化財 宮川長春「風俗図巻」	江戸時代・元文~寛延期(1736~51)頃 *展示期間8/18~23	東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives
	12	鈴木其一「雪月花三美人図」	江戸時代・文政期(1818~30)頃	(公財)静嘉堂蔵

ご住所	〒		
社名/媒体名	社名	媒体名	
ご所属/ご担当者名	ご所属	ご担当者名	
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
掲載号	月号(月 日号) / 月 日発売予定 (発行部数 部) <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり		
チケットプレゼント	<input type="checkbox"/> 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。		
チケット送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。		